たる御決意を御奉告、御射をもつ

深き十二月八日を三度迎へて御射 を以て民一個を撃るさせ給ふ

加へ蘇々たる職果を収めたのであ

伞洋、中央太

が換機されたので

時、宣駁の大船

に無威しつつある。しかし我に於いても既に十一

る。その大脳を

くすればこの間では玉頭心能はな つたのである。これを護用抵用される人的物的意識をその手に握 鎮海際備府司令長官後

勢へ追撃戦

過憾ながら物質。
斯くて感覚第三年は彼我の一大はならぬと思ふ次常であります

一切を降の風機の「い、気や 衰々は、正常の暖ひであ

目標があり『藤は山縁よりも輝く

死は場毛よりも戦し』とする無敵

局新く言烈雙艦の機相を加へ相関 くわが大阪県の中に双環球を一大

敵艦隊ヲ撃破セリ 聯合艦隊航空部隊

院深夕之ヲ嘉ス

惟フ

二戦局、益多端ヲ加フ

方面海域に於テ寡勢克

ク連日

汝等愈獲勵努力以テ股カ信倚ニ副ハ連日ニ亘リ惡天候ラ冒シ勇戰奮闘大

を解破防し、また

宣言し自らの血と肉を以て健慢す

を執つて身命を悪調に整治

は見く脳を選い

朝鮮軍司令官

戰

勅

トヲ期セヨ

神気とこれり

股次

有数ノ忠

就勇武二信倫シ祖宗

造業ラ飲弘シ連二觸根ラ支除

シテ東シ

型水道シ グママ

和ラ確認

素肥永遠の平和を確立せんとする米英麗波の緒取であつた。明殿尊

の巨歩を踏み出したのでき

最終過成に血盟の盛ひも固く今や歴史

と勝利を確定ねばならない。

われらは弦に暴つて厳険艦の無限の取力と旺盛なる

のである。

てビルマ、フイリピンは相次いで図立した。かくして営々六ケ國の

自國民の自國を再建せんとお

一覧に新たなるものあるを傾ゆる。

脳波の相次は未定消え去らず、われらの域

一昨年のあの日

も、目いなる道質であつたのである。

次いで開設二年は即ち飛行す

の大師の下にこ

說社

大戰二周

押も大原語取事は権國の大理烈たる八都一字の大精神に基金

され、また刻々の飯

戦史に燦と陸

軍の综合戦

敵

萬を撃滅

三、我方の損害

三萬二千九百六十二名

最重一度超ち上る

時である、脳をもつかせぬ追撃版 はここ」、二年の間に決するとい

れわみたみ にさくいみ大のこ

んかぬち勝

出下に置つた首第

海

〇下、 島田 野田 東 ・財政に退びつ を遺滅せしめ連

を上げないだらう、そこで長期歌

が出來ても、彼米苑はなかく、手、総對必要とする。我に必歸の聽頭

で遅かに必勝の膨熱を観くことを

和十八年十一月

旬に

船の

果



舊 闘を御嘉尚 勅語を賜ふ

合艦隊司令長官に

海軍幕僚長を召させられ聯合艦隊司令長官に

認証より『報道宣原および國国巡』を報告午後一時卅五分帝會明これを決定、ついで天羽信報局「電力消費規正に捌する件」 『魅力問題版正に翻する件』の二件 - 時熟管理非常限化期間質施度項】 節解を求め、最後に陸國務相『殿

【東京健酷】七日の定例閣議は午 定 例 閣 議 動の連絡調整に関する件』を説明

獨海軍防備部隊は五日エルデゲン

赤軍砲艦二を緊沈

會議開催に関する中』につき説明決定、星野路記官長より「地方長官 電が脱門の運動を受ける。 の意明によればケルチ南方の



■ の記念日を迎く。 ■ 会に戦争第二周年 ● の記念日を迎く。 小 を押してより早く 小 を押してより早く も絹一ケ年を終過

一局は、その第一年において古今東 職みれば今次大東亚における取ます

く他们におよびましたが、

昭

鮮 稳

督

神力、何力及び

のものは、麒覚補に勝敗の決を見る

ます、別るや香が精神力及び能力 得るの餘地を好して居るのでも 機悟吹第、能率の發揮し方に依り

を跳げて、物力に於ても敵を破職

し、以て戦力の総和に於て勤然必

一年後の今日、春か

もある変質であ

本は遠近船行校及び造船に於て朝

因として、

富民一般の生態的形力

位死れるの兆あるを認め得ますこ

徳に被我種動品

ては、今後機らでも物力を伸展し、豚の第一線將兵を飽込む

推進

目覆しき職果 し得るに足る

軍標質級の増産とこ於て、前途間

賭君と共に成びに堪へざる所でむ

とは、本総督の衷心より学品官民

攻勢を 貴施し來つたの でありま

前後依然猪头猛進 佐り、堤近摩

は伸展し難き遺跡に在るもの 反し音が漫画日 能に達し、輸後

他の面に於て漸く の生政力は

力の均衡は、晋が一鬼手一投足の一勝の鍵を振まねばなりませぬ さる所でありますが成に、使我賦に至つては最初より敵の遠と及ば りと確信するのであります。握し得るの故阜は、正に近きに在 て戦力の機和に於て職然勝利を把 努力によって見事之を打破り、以

る機相を大觀するに、學徒志原兵

人間も年島の官民が、天皇中心に て今又此の運命を自ら即指すべき る多関多率なる連命を有すること

は今更管ふ迄もありませぬ、而し

動つて吾が朝鮮半島最近に於け

一蔵とおいて最近魔次に直り限る も一概力職場各機能の決職理修行を動 の職務担慮意識は、変消として他 の職務担慮意識は、変消として他 の職務担慮意識は、変消として他 の職務担慮意識は、変消として他 対職勝門屋部職は、彭祥として即、國力増殖の思常とを根拠として即、問題を突使として明鮮一般の飛回、第一日奉りつ入軍勝州組の憲論と

光景は正に限に金曜といふべきで棚せしめ來つたのであります、此

て敵のこの反攻一力、特に航空機と船舶の敷置に於一決戦の機となるや必然でありまし

は先づ第一に朝鮮よりとかふべき

あり、斯くして銃後の大戦県獲得

 は一般では、
 においます。
 におります。
 においます。
 にはいます。
 にはいまする。
 にはいます されば隣じで其の効果を加待し継 でありませう 微し乍ら果敢なる思惑も大心

治療的立義に任る者で、職し戻の 内に放りてのみ結集の発果を収め 侵べきを信じて駆びませぬ、本縁 野が且在追離的線の縦立を明る所 組織の種類大小を間はず、織じて 而して人和と 融力とは、 職場

以もが弦に行うるのでありまして、 頭き織心の 嘘かざる 町織じて大 線の信機を 舞き得ることは 出來 ませぬ

情念 の存せざる所

総革業値 や否や、各種職場に在る資務大衆 は班長山頭等が楽して一人の例外 に觀理する朝鮮の地主重役権乃至 包険しつくこれに對威しつくあり 人の原外なく職と訳とを聞かに

が観りた。 で構築する半部の更像は、果して に構築する半部の更像は、果して

つた人は一人もな

長期戦決して踏するところにあ

と、石に帰わり なものであった

し想光を仰ぐ

の場所を

らず、ただここで、略へなくてはならぬことは、長列戦になるとは

陳顕指揮に任じありや否や、又一 なく酸と製とを進んで同任しつと

概念に努力しありや否や 解認識し心を決戰型に切り換へて の勢勢者が駆して見く時間を正 代け後と課との感激に選りつく

向の更に 力弱く 獣を下さんとし 開拓の創絵多声なる生西の場間に 方に燃え上り死れる氣魄を以て、 入りました、而して朝鮮半島は今 大東西戦争は悠々本日第三年に

職事を勝ち扱くをめには終力職態 に過ぎぬのであるが、然し千丈のかくる人は、勿論國民の一小部分 いる著へに徹底しないからである する、これは自分が蹴ってあると 欧に卵がの瑕珥があつてはならぬ て居るのです。而して難に勇み必 を聞く時に被めて此気頭は贈り 而かも

で に関い、その日の監証と関係となってある。 である では、その日の監証と関係となっていました。 是あれば こそ我は紛ち是 。 なけれ

は難に一個を除するの優があるの の職に半時官民の都省を記み、 本郷番は切覧に戦争第三年決断

に二千五百萬大衆に殿示すべき官 欧幽然に對し、華殿の東大なるに

脳み重ねて非常の硬脂を製団して

一生みませぬ



に軍く認識を寄せさせ給ひて前内

例年にましての野氣臓

節年間に收めたる帝國陸軍の綜合戰果中主要なるもの竝に我方の損害左の如し

敵に與へたる損害を戦せる敵第一線を 飛行機擊墜破

線兵力

撃沈及撃破せる艦船 一、南方及『アリユーシャン』方面

(俘虜及歸順約十萬を

四千六百七 約 約百 二、支那方面

務型水逐洋 艦 艦艦詳艦艦艦母艦 之二二<u>聚</u> 四六一九天八九三計

拿擎二 事 三 拿壓一 特必魚掃 沈船計艦艇雷海 甫碳舶 船艇艇艇 飛計 彼墜機 1 捕破船 回 一五六 八八二 八八二 八八二 長 隻 隻 大 八 四匹 八五七

榜哨 編特灌羅巡空戰 品挺疑監修器語母語

離しも遅ばない

飛機精神に燃えたつ質能は何處か

あって、飲も得もないこの崇高な

前級の終兵はたい一死報國のみ

必されてゐるかとい

やにからってある たど銃後の生産がこれに置くや否

なる消化戦が削

質る大本が的

統然部には既に成績版々である

十分納得されたこ

「動力の結集に耐く難約を生ぜしめんとする米陽然たるや際しお低せる衝なく、戦争目的に対する関民の関係 然しながら遠近におけるブーゲンピルやギルバート励 のがあり、販売の態度に伴み真相の弱路は限民の眼を 限度にようて、物質力を得み購れる酸は新くにして低 物的資源ならって 商がこの例次を決 にあり。と叫んで「不助腹である、これは慰力戦の影物的資源をもつて、一切しきれないものがあるのは宮に のである。酸はや れ闕民から出てゐる、然るにその

全世界を瞬倒せしめたこの一年の勝利の記録こそは寛に神戏を概ざ

たる大和民族が至々新世界の創造に向って大海軍を開始せる力強く

國民の中には翻茶の個人主題を除 一覧ふるに足らず、 悠々長別職に勝 れ関因から出てある、然るにその一匹するならば、銃後の生涯決しても生れてあるかといへばすべてこ。新たにして真に離力敵の高能に做 急続である る、削減もが役も、すべての人があれているがであ 置ってあるのであるといふろへに 一人々々が徹底することが今日の

社告 本日發行の朝刊は六頁と致しま

京

娍

Ħ

報

機械数率後接続の機管所定例高長金融より日午前光能学から子後一番半支で開資、小機構製から 実態局の機能の 戦闘に次いで機械数率後後がの機管所定例高長金融より日午前光能学から子後一番半支で開資、小機構製から 実態局の機能の 戦闘に

定例局長會議

非受檢者に徴用令

八山落伍する勿れ

間の談話を七日午後四時次の如く

國民動員圓滑化

地方動員機構を整備

兀山工場明春完成

高橋造船工社長歸任談

元の好く語る

奮起要望

して銀灰色に輝いてゐる

軍事施設に必中彈

陸海鷲、カルカツタ强襲

って、それが補 を稍ぶための道に る型料当の点に

く置くようが

4、細心脳腫 から限機師社 家族プルの姿

煖房·給水用品

お見

心坛化主导之

し、また祝頭の吉野町、神井舎の し、また祝頭の吉野町、神井舎の し、また祝頭の吉野町、神井舎の 展居を献じ、御前規を建てると共住民も岩附を値んではならぬ◆大

田は親をおさめ、学的版書から趣
 一京都・を持て、郷める書者・町が選されてゐる。姓がそる歌仏
 一京都・を持て、郷める書者に繋がその質
 一京の書稿は、「東京の首
 一京の書稿は、「東京の首
 一京の書稿は、「東京の首
 一京の書稿は、「東京の首

(a)

あつても、朝鮮

ぶ一本の遊が

戰

健

康

美

li.

人も、その足

の年十年五 に症性慢

堂祭光 三町寺寶久北區東市阪大

輕金統制建設に拍車

一年月に入ら

戦争の1年目

配原中 『順軍 配原中 『順軍

大工用機械工具 朝鮮オキ商店營業所本部用機械工具 朝鮮オキ商店營業所

上候也

記

平壤府旭町十七番地

肺が指導的な役割 會談詳報

謹 出出

をふけ

8 H

売益 これ

東京程度】長くも、大元帥陛下

敞必滅の奮起を誓ふ

『帝廷哲』と関し極端なる地語「東部節仰」、周年の家節歌を日を選「マーシャル酷精神に、わが空間稱・葉げた養々なる際異が相論で第三十八日を理へた結関蔣原は山本元師『帝廷哲』を与れ、古政殿舎「既ひ今回は二回目のとである。大」【東京後記】ブーゲンビル結神に「原施空部家が大放反説の航空観で「度大東語駆送問題間総日の十二月

赭顔、湛ふ必勝信念

古賀司令長官の近況

萬難排

て増産

今般左記へ營業所移轉致候間此段御通知中

が、常國が更新せる國民政府と東語の平和を撒乱したのである

學大博教

るが、光明蘇灼、変に世界歴史

別國との交誼を驚くし、萬邦共

を増展し競々挑むほか、通路をい。帝國は自任自然の爲數起す

一般なり、世界の年和に客仰し、 肌臓を繋びて特臓の周薄にな胸。 此に至っては他に異対する、事にられる。 順も先う東亜の変形を そして孤に変勢米爽関調が、 特臓の杯では路径に続する。 事のもののをは、東部の変形をよるものであり、別域の しょうとする超端を明白に発する。 ならば、東部の変形は失ばれ、たまへるものであり、別域の しょうとする超端を明白に発する と聞いましていません。

一周年を迎へて



風観に接する時初め する、ビルマ反攻、

て分つたやうな気が

れてあるといふこと

一八九五年及び「九〇二年のペネズエラ紛争などに干搾して中南米諸國の獨立を擁護すると共心、歐洲勢力の米 策である。ことを査証した。 明ち 八二三年十二月二日『モンロー主義』が貧富されてから恰成百廿年の帰籍を綴た、匈殊このモンロー主義はア

代と、その後第二大歐洲大阪勃設 トの大脳関別任巡の武力干渉時

の整隣政策時代と大駅後今日迄

い、慈味溢れるやう事実験

目ら招く太平洋危機

神協を あるるなの の一次 では 大手協 が 人手協 が 人手協 が 人手協 が 人手協

る元帥ではあるが、原住民に

温谷である

一回城等一回建設

武力進出愈々急

も行って米洲軍事プロット

米英湖定して、この結果職能超過 島順及び海空軍弘地租賃に購する。 事的使略へ向けた。その第一歩は 日まつて來た太平洋危機説は、 駅州大阪の財鞭とその後次第に 今次大戦以後

福軸作戦のため聯合國法軍 九四二年六月廿二日キューバ 腹不足を口實に生活必需

らんである元帥があるのだ。

れども、米臓自身が悪半球に境民能服するとは監然である 大題への武力工費を阻止した。しかし元來モンロー主義は

あるところに不選削額なる正置がある。 うと英國ギャナとの國境批争につき 研究 のある。 この思

大庫ペイヤードに興へた荷名な脚 米大陸の主樹者である、米國の命令において『今日の米國は率紅上

百廿年の罪惡

一十四の原則と互加通順政策を決議した 層國民の犠牲において米州一帯の 弗帝國主義時代

それだけにこの野後におけ 悪辣なる弗外交

成 北 電 海海府 **高华府縣南本町** 咸産 潤準行 **蠲 纖維雜貨配給組合聯合會** 北灣 食出 原木生產出資組 是料品 小賣 與料品 小賣 內 自 理集氣 動 車 柳工 落浦 株 川商 橋事 式 業組 堅爛 會 **庄組** 七合 雃 三合

数は総力級である。

次のやうに燃え上つた。

る。解釈の識力は既に頼

永遠ノ平和ラ確立シ以テ帝國、

り南に下つて我が南洋群岛の

し鐵壁の布庫が布かれ、数を引客とに到し我園は日本々土を中核と 逸二無一弾し寄むて來て居る。 く魔勢を保持し他方面に於て劣勢と選し 反戦 後級を脳吸する戦略である 内供作戦は兵力を重點的に

ポタニピーラが年 で 最高なんで派四

光方

必認承 神神 株式會址 北鮮自動車交通株式曾 第一府 城 一^双商町 本町 津寧 津 常務取締役 學語取辦役 事株 海 Ξ Щ 產 龙 井 山式 **F** 府 起 佐 組 敞會 太 宗 合 郎社 清和 夫社 廳

百機献納に蹶起 朝 壤 鮮 奠 無 煙 大 炭鳞株式會 小 江 J. 西 業組 支 店 台 HIT.

放脚が行はれてをり、収等の関節を吹奏することは許されない。 収等の心を十分に楽しませるのである、もとより、繁闘等は威策 はれる、バイオリン、クラリオネット、國際、小太鼓、ラッパ 俘虜にとつては、シンガポール、その敵の樹脂の旨 わが温情に孜々ご働 機と民英地し抗団に随頭・ つなと選伊,るあで5た兵件 レとス理と現面の悪石まなた われわたしほでも初に作所を

緩めるな!撃碎の手

巡って來た。大副を到するとともに、まことに

巨断に終する容易ならぬ職争であ るとの疾物の決意を制が上にも凹め身製ひを観えることもに、水い間の暗路を 順期がこみあげ、順がおっとり 職米英の原在制制の非国を置う速かに両根を支除せよ

ての便りの中から彼等の組織の模 探るのである。適かい日本

ある。今年卅六歳で頭身である。

夢見る。歸 祖國措いて妻子の事で一

間、保険となって何を容

大本管報道部秋山中佐の放急にも



自分だち怪機に對

思ひ知らさん

後の七時に夕の闘揺があつて日曜の一日を終るのである、この

関する者があるといふことである

かうして破坏はいま最重の正当の前に規律ある生話を終落させられ

けて聞に一ケ年五ケ月を極た、

狗れ言、祖國は勝

ス大島。自分はシンガポール英軍司令部の運輸貨幣役の任務を

問、俘虜生活によって得たが関はどうか、職争はど

れるのである。彼

用









であり、誠じて勝利を確把せぬ限り東亜十箇民族の滅亡を帰けてある、勝つ 米英的世界観との火花館る心臓であり、新レき世紀の艦虫を顕著する「職・大変に世界観との火花館る心臓であり、新レき世紀の艦虫を顕著すると、まさに福軸的世界 前に協当総位された原洋は対生の風吹きを取り戻し、共楽の無難は不動の樹 死の滅ひも固く、ここに十億の血を離げて農太機能前別な生能に突入、一瞬のを固め、昭々だる賦泉の花に並を組び、二ケ年にして建設着も高らかに同生共 絶え間ない血脳勝利への第三年の段階に製造したのである。世界歴史に未 ★と阿修羅の協議 を続けた皇軍の副 に、妻邸した歌戦 に、妻邸した歌戦 があったる歌北 他民に映じない。ともずれば心の被みから駆倒を終りにも身近に破じない **態びその 針苔を航後の 野苦に揺かせ**

戰慄

無念・殘念で盡きせぬ敗戰談

日

一次。一次,

定

数された額マライ英領司の宣

大院等

校生 科社

少軍佐醫

イマス・フランショ

問、開戦の日何寅に在つて、如何なる作戦に從のとんな関

寒二六隊 聯

邮大

益

ペーク・ブーネスト

リチャド・エドワー





にかけての自慢なりであるが、この が傾向でやってゐるのでそのうち こ不利のやうだとは思ふが、米英

P) 治つた話

除行司は眼横眼跡の聲行に一寸の眼な舌か、

・一種を削級に強らう、そして献も石炭も食物も確ひなさ

來の激励は他らに過去の職果。

うか、愛國の赤殿示す類部へ

世界史に勝利の歴史を刻んで 年間いまもなは勝利の

のだ、 銃役半島は果して 弛み であるない なき聞ひをつざけてゐるだら

歌納金品をみよう を、全獣各地から十一月中に を、全獣各地から十一月中に を、全獣各地から十一月中に

個人として一萬國合計三萬國 此として一宮岡、柳原博社長 に師後類公のしるしにと同音 て欧洲の域を披露するととも 即かす節節將兵の勢苦に對し 数に登取世界に不被の取果を

駆けたが、この地域しいこと 心血質をしたためて仕跡を 上屋 武官府へ波打つ献金

朝鮮軍愛國部を訪れ散米英国

海軍のお側で奉公

總督も臨席してあす壯行會

で各方面に最米の威動を呼んで

心臓しき順を狙うて執拗観烈な反攻を企圖してあるのだ。

対兵は全力を獲つて変戦してゐるではないか、

一般國際公に突進せん、

こして我れに不動の必勝の信念は大地に構造版つてゐる。我等何思

の後、南方領航空部隊に従軍の機・まつ高官本社々長から 人間間の相談を細かく道 の心機に新たなる医館を



際の職事では一つの大阪果が暴る

のらうと思はれるのであるが、質

ければならない。長い間の我慢が の時間が慰されてゐるとを知らな

總てを戦力增强

度の汚事面を抛式散足し、陥々たる新生の県吹きに共衆の温しき 趣識三年の日を迎く碧心潔潔して心の中に日の丸の腹を蝎は歯科の

平野氏の講演 造 机 大戦果は周到の作戦から 優秀兵器

英国滅に七生滅賊の最級理

我々は大戦災が概る度に脚を構か。 を保けて歌機とわたり合ひ級悪機 殿わが荒魔と起居を共にして來た 大阪県を無げる前級現地ではさぞしてもそれは部隊長に削取明して翻録の眼を取る。そこでこのを財落した手柄をたてて節づ かし猛烈な威威的な場面の連続で 似は二年間にわたり南の前級で無 つさりしたもので蘇々たる武勵をまた、殷敬が敗退するときにはいれば航空製鼠ともいるのか難にあっするのに一台の故障もなかった。

次いでマレー旗躍を目離した差別 菱刈氏の講演 七千住無氏の手を通じ、この存本 つて破職しておる地町五九世身郡。の戦き自戦の戦り最臨いを、同め、ビルマが主義が傾に最戦に破職に日常の一切手がら左記し、メソと言い本年工立戦であるが、口川金書)が当はルマの一切手がら左記し、メソと言い本年工立戦であるが

氏が、激情を五階に悪らせ登閣、 大戦であつたこと、第二は作戦が シンガポール攻略職の電解的な れてゐをこと、第三は民器が優 黒はまつ第一に最短指兵が追加

やるぞ 億歡呼の日ま

ず地館を埋て遊げるが、その地質ときつこととといい。 扱かれたやうだつた。また英軍は ず平然たるのを見た敵はどざもを をふんで制造しても阪車は轉駆せ こにくい米英げきめつ 一台の故障もなかった。 歌に出たことがなく、白旗を駆け ンた、パーシパル中將は一回も前

協力で名残 場つて名残 ので名残が関

生産版充へ!

末鄉 5 株金 署 300 003 000 株主期足 大郷 5 株金 署 300 003 000 等格·多期決算公45 與總十年九月三十日現在 與總十年九月三十日現在

現清 株算

內

海

清

京 藏商

133 加店 10

志願兵制に沿れる半島の赤城を吐

--ビルマの一少年から 決意の手紙---個へおよび習慣を幾切せしむべく 解する在京県生に辿し大阪後の心 左腰中尉などから各間収練の旗牌

貯蓄報國米英聯滅!

菰淵 研 一 商

店

配師の七九四五番

さよならし

ついたが、配配機家と展員を結ぶ 間した後、九州各線の聖山巡拜を は六日下購一泊、七日南鮮の途に で職一ケ月間魔蝎が動勢奉仕に敢して職一ケ月間魔蝎が動勢奉仕に敢し

るかをはつきり物語つである【幕

信職し、且大東西・共衆國の確立

舞歌される線に働く繋音です。一て響きぬ名成りを惜しれ魔はしい。

農家の人々と農報隊劇的風景 ・性・ ・む・ ・れ・

仕談 練

一億戦闘配置に付け了

朝

鯡

證

券

取 31

所

【制度量配】目下野集中の第一別 ・ 「開催」を表現している。 ・ 「関係性のため機材をの他の打合せ ・ 「のため来上中であった古岡権卸兵 ・ 「成職者開催所基本と日政務を了へ 若人よ來れ

確別を次の に対対なび節

を以っ

銃後の我等!

秋

田

證券現物店

電話代表本局の五一五五番

川島屋證典

半層二子五百萬の慈父小碗納唇

島屋證券京城支店

の戦力! 原域位于是黄金阳二(朝始三阳)

1

株主脚足 万

銘記せよ十二月八日/

朝

鮮證券取引

實物取引員組

合所

和和

成品光化門 3三七〇四番 會

at

\$ **KB**

12 F 8 B 歷史誕生 扶桑萬· 東亜の 1

も眼瞼を通りなかつた イを窓瞰し米蔵は相筒に指摘を繋がれていたのであつた。こ 町の稲飯を買つてみたのである。 糖に腐は一はいになり壁の細紋 路線ではないが、7日本空野がパワーが鈴大なる成形であったとを思す されてゐた。ヘワイ窓壁に呈くも

やつてするで自然的行為ではない。 マンドに指摘して入るラジオでは、リッチモンド、嘲笑が、財衝司令部、明けてろにトレントンといる小さはお互にく日本はヘワイを襲など、マンドに指摘して入るラジオでは、リッチモンド、嘲笑が、財衝司令部、明けてろにトレントンといる小される。 他は燃米人だつた。これらの米人 は飛び離陵して弦の八時にリツチ 名前を呼んだので事跡感に行くど 今後の成り行きを弱くてあた。夜夜行物の頭をはは一人が日本人で つたぐと議送し続道してゐた。豫 の際に添行地の気としカーが私の 私は背車の勢別器を買って恥かに 放送されるワシントンに行くことを止め此處で特敵刑事二名、制服の警官

コレて私だけが残つてゐたのです。間の成り行きを聞くために 東洋して来たので家族は早速図は トンの大価値に行って登近の日米東十大年十月に図際情態系非常に 種の商用任義を集すためとワシン の支店長として在米してゐた。昭よつて全く事情が通道したので個

私は本社の米部テキサス州ダラス・ナー月廿六日にあの最後的道際に・十一一月六日にダラスを左五分後が世界や舞倒させたハワーやつて変るで自殺的行為ではない

シントンに殴つたのです、後で兆 ニュオリンスから飛行機で一路ワ

フレた。この際に初めて飛行場のかり、日本の精弾した飛行機は勝々たるフスをでは、上に約油のため着難しまない。

ってゐた好、全く驚天動地のこと

狂氣の如く

から汽車で行け

重の除りの事の早さに少

つたのですが、私が飛行場を發つ

齊敵愾の眼ざり 途端に飛行機から引下され收容所行き

せ爾來約七万月間、滕國の不法與留を受 果液な過転のハワイ奇態攻厥の報に接し 東距置第三年目に突入せんとしてあるが

けて第一次交換船で脳図した東洋船花會 ておほらかな感動に國民的血刺を逆流さ の威威の頃にアメリカ本土上空で神輿

の大阪県に築い、いまざめさり来つた二年自の日独へてあり返した欧語は重の向に証謝、米突ទ統の決議さつた。あれから二年-墓里高歌が数の賦を殺き祭を担りしか襲撃として魅つたのは実に矢縁さ草に駆けられ、統後に駆勃の重ぶるひもて戦力党職に初曹延身、この大阪県に築い、いまざめさり来つた二年-墓里高歌が数の賦を殺き祭を担りしか襲撃として魅力をのはまつろばぬ来突撃ちてし止まり総合の決議だつた。あれから二年-墓里高歌が数の戦を殺き祭を担りしい襲ぎるというに対して大

あの

日敵米の狼狽ぶり

もたらすのだ、愛話する靴の大攻勝をわれ等は血をもつて食ひ止め

「國はあげて國民的激情にかられて慟哭、

篠原好雄氏の談

き威威を 叫びたい衝動に をかり 私は思はず椅子 とを知り 私は思はず椅子

に浮かべて今こそ大東距のために

つ 野で肥外を 買つて見たが 既略

日米開戦に

ムドイツ人団ドイツの國際を、日本

つたのであるが、この問題條例が

んに大阪果の報に湧き立つた、

とは多くあつた、六月十一日急

敵の非道に「関した

京城四大門區四大門二丁目戲類柳鄉誰行社長柳原博氏は昨

柳韓洋行が軍へ献金

感謝の三萬圓

の騒破と関

に庇けつけニュースを願いたが、

ためにアトランタに着壁、私は早

かくて無気味な

れた、私は與へられた岩布で身盤 シャツ等は危難にすかして聞べら 頭の髪の毛 のイ密製と関係したスパイとい

-11個八十四

立。 ☆大鵬五十 中国資金属

立中母校一 城市登山那 城市登山那 城市登山那 配金

舖移轉御案內

御迷蔵相掛申候事梁く陳謝の意を表す尚従來の店舗にては場所狭隘の為種々 | 將來一層の御支援を賜り度御案内旁々野店儀令般左記新店舗に移轉仕り候問 移轉先 京城府釧路區銅路二丁目八番地る大第に御座候

贈願を感じながら、無観電影の一現地にあつて暗襲低迷問近に迫る

少八日々のことを繋へてゐたとこ。現地に着いたのは〇月〇日。何と

いのです。熟透が推動な歴として、として思へは私の向いた〇〇キロ、八月、灰部妙館の線へも新ただ決いです。熟透が推動な歴として、として思へは私の向いた〇〇キロ、八月、灰部妙館の線へも新ただ決い。

を払鑑が知つたのは午前七時でし、日間決戦財会に続き返回を資施する払鑑が知つたのは午前七時でし、日間決戦財会に続き返回を資施する

には細部の配施方法は次の通りで

める東の空の朝日を揺んで縁を洗

年、米英必滅の大昭を輝し一億民

明~十二月八日~を現地で迎へ選

館に皆時の海域な歌國本版法(安

必勝の決意新た

非番を總動員

外をが、駅道服きて東大門将員の

央際第三年と考入し、三度で、カー加第一部における主人しい戦闘を 出来ません。私は今年廿七歳となれる年前青年の一郎がある。一日國本芸(よう 職日道(くり)、一日本の「「日本」といい戦闘を 出来ません。私は今年廿七歳となれた本学前青年の一郎がある。 一国本芸(よう 職日道(く)) 心がまや金くなるが晩ばれるかの「すね?とうと前の方に配き向行到、事を忘れようとしても忘れるとがいますなくを開は続きて、の解君を討なると。必と論二年で、になりますが、私は一生この日の

あの日現地萬歳に沸く

威勢にまはされましたがこの日は は行くとすぐに須地病院の魔物器

のやうなものを購入三時半頃に起

けるの感激を貯蓄へ

何物が能く吸り得べき、不質の結ばりを止は鑑より强かりき、アジャは一つの血

明日は又岩と彼の大祭に相家みえむされば此の日我総鉄を摘て入院を取る

質は燗る珊瑚の島の質の間のはひを走る。マユ河の鮮血に

海形と雪し流る人に任せよりるせ友上記を、我等が双照に

くろがねにあらず、頭栗の山にあらず、見ずや君、アジヤの守りこそ、げに

アジャの守りは一般の血、若人の血剤

復船の日、解放の朝、高れ碧み入日を理へり見よ、整戦然に三年、再び冬は

十二月八日の暫ひ

四週を踏しての大泉形成第三年日 個配力を指げての 見る牧道によりの

人も貧るな 一倉茂總長も檄

と加く大東語戦争第三年に突むへ延に必勝の決群を固め治しる就戦の大昭都領第二周年 を強かに置いてこと感じ酸

瀬戸知事は次の並く『大東西記録 帝国回河南西省へ、 英語下四へ

記念日迎へ瀬戸知事檄

融北を 申合せたが、

飾りつけも廢止

中国では六日の町南部代省で管内一段版正月の建築を新たにすること、表観第三年の正月を迎へる東場府・歴止、頻繁な内飾りのみに止め、 五十五町會を通じ決職正月の飾財」となった、これで府内巨拔の本町 決戦正月だ無駄なしで行かう 門な紙の所容。する中區一群は円飾り採しの認る

保安生信司部のあとに打合資を開 と對する無格膜示の有無、正説の 十五名を築め別川器長臨附、野中 時、即示路と傍下人力車軽線者 業者打合會 は六星 東門區人力東西野で 人力車収締却則に對する隠骸

内別証明、湯屋、人力車、ベス特本町割では九日から十六日末で管 恐るべき競松テフスを摸破せよと

チフスの防疫陣 歴、十六日各飲食店 禪に鍊る鬪魂 夜の細道を繋心な 次和町の高台、町 ち次と顔く 番院 推測の人々が次か



ラジオ楽ない

第一放送 朝 七・〇〇

務員領計・優厲上經際ア

事門の 友信組 引護荷及がよ

選択を一致と称のリオで顕然の (成大)の三言単く子道林が落兵。 瀬町四年大学の強烈が政策の(英男教派派(金漢) 男教を重義 瀬町四年大学の強烈が政策の(英男教派派(金漢) 子供を高楽 が、 氏芸男際九君(拓大)男尉管正蔵 第二本〇・11〇部哲學館(内部 第二本〇・11〇部哲學館(内部

んなる門出を脱し、放験する貴族

慰安會

貴族會壯行會

今ぞ君が征く秋

優長脳に父兄四百餘名姚常して朝言記順祭に顧安の夕を開催した。

爾承冠 (東六) 男朋大燕桃弘智

學兵を送る壯行の花束

お聞り 小説『明子』原稿 第二放送 給 仕 採

旅館あけぼの 高本局三五七一・二九五一番 徳山 運 搬 組 原城府中島銀和一叉大道り 十二指腸丸 投引越荷造物 大陸タイピスト

館畵映信和 場劇央中

知恵とユョニュー 山巻文十 大会騰化ス 座治明 場劇南城 切封別特。迎日念記的史歷年三第戰開

場劇路日京

劇

| 100 元 | 温を扱い共にいる。 若

堂書店

大城歯科

大城秀

京 場劇一第 城劇 寶

大戦庁高級所述運動 自+二月八日 至十二月廿五日 前烈の決戦 16身の貯蓄 マルバンドル島沖大勝威謝

第二周割增金附定期預金 募集中です進んで御申込下さい 撃敵資材に一枚残らす補助貨を御引換下さい



無金折信即銀銀銀與商殖群株組株株落行行行行銀銀銀銀型以及又及及

帝朝朝朝朝

 走 職 業 紹

國の献く立とを私還は知る由もお、取しい大路ですが私は岩石を一つ。し張的い國、自二十萬所以國際地。政が告みとする物の取むにも翻じ、と贈えつけられてるます。然間お「り・毒酸は久々・を明ふのです。お「金酸田出の三酰に養養し入日を期、養大切な貯蔵により「服力を入為」と思うけられてるます。 が間お 探しておくことになつたのでした のですが附近で膨く人々がいきな (する日です 福度追加は影響、脚宮大麻の霊際 貯蓄と金屬回收 大栗田殿第二周年昭念 | の精神を眺謝するととなつた と腹ににじみました。のですがどの日は不思識に腕を押、行かばくを歌のつつけましたとはありませんでした。少難行かばくをよく既へなかった。簡の記します、私器は同度もど日の丸の液が寒く仰 城府職盟の十二月電職 日を四へ之國民職力京 感銘深き今月の晋ひ またを買いました。ままそれまで一般へるのでした。皆でこで宮城を選択して「多様行か」へつけられるやうな 虫を下しませう V

完勝の曉まで續けませう

無指可數。京都軍路周辺最

豚肉內臟配給 樂

から、本は同里大〇大ノ三字郎

場合語

演藝慰問袋「〇巻」

で開きません。 嬮

使国际间 皮属沙原 **性病科** 医等等主 足元錫

ルデード 場劇陸大 場劇洋東 座 富 新

窓合在1を発電りス 館 花 浪

不大

智麗藏 本記文

海

外務社員採用 若草映畵劇場 館樂喜

イビ師 満夜 調夜 調を力・典 調 治玉 場劇花桃 座

右 丸

錠で

日朝 四公元 アード

建 一、職募資格種 ₹ 赴任徽定

面接日時及場

清津製鐵所 行工員



4

本日は十

ノよせ記銘 滅不隊擊攻別特

朝朝東朝朝三

农

朝朝鮮總督

團府

介

時間第二十歳以上四十五歳辺ノ身僧頭域ナル際追工場 地名ノ北王成酋及(2)毀職一が文名は保證貿銀三四三十歸以上((1)京城

雄

待應 職 業 資格 種

は南方共楽圏・大陸へ

行け

業 紹介

符

遇

ばならぬ、一個國民のすべてが全

ゆるとのことは一つの世界史的事

し終り重要な機略追顧を無事獲得わが國が南方共衆圏を完全に限定

を選行する能力を獲得するに至っ レ日本一國のみで生産レフュ風景

青年こそ次代の原動力

功によって日本は自就より数はお

ならない。従ってこれからがもつ

焦度しつゝむることを配るもので

時の不利といふことを盛に大樹雲を知つた時の國民の心療

ルバート作成に関して『余は諸君

主な對日反攻である、敵はこれら

可能をちしめるに

過ぎない、然しながらこの可能を なく既に可能を可能たらしめるに

その超大な影響と天規模な生産力 | 攻が一日超れば一日だけ間勢は米

た大利烈と、その大指数の登場さら最を最後まで確保して自給総数機と、この大指数の受けの反及を観視しわが手中にある費 へを懸飾して扱いたいのだ。と語「田和してあるがわが万としては歌 古來青年は、その時代の一に己むを母さる。歌歌でありわ

趙州すべき旨を張闢した、なほ同説演は全國に中郷放送さ

來た、この目睛隔離れる弦牛前十時から『國際電腦是現式 指つを顧史的一瞬間はこの八日とともに三度同国の面にめ

新たにせんことを促したいと符じます、さて第一

全に米國の敗北である。従うて日

蘇展がそこに至ったならは完

あるひは印織関策と弾くなき続け、顕維州の頻繁を表する歴史的疾艦、の景中に迎くをユニョ八日の大耳の政治は、中央、西韓爾太平市に、「熊鴻磁宗リネミニ戦ごそはわが昌」はここにある。かこる無烈な民戦に

【東京総語】大東西歌語・「簡年記」さをもうて、わな個内に辿り、賦一といるべきで、わび一個問題の経過日を興くて前記はいよく「本格」史末僧书の情認を謝願が異ざ組織「歌誌により、観半大東亜競第三年間在京職選問と突入した。側の錦「なく離けられてある。まさにこの「を帰ら扱がなばならぬ所以のもの」

五十四萬七千(俘虜及び屬順約四十萬二千を交戦せる敵兵力約百萬、敵に與へたる損害約南方及アリユーシャン方面

五萬四千百三十二名、

戦史に不滅の偉勳

師く誠々たるこの一年間の陸軍

陰に我方の尊い犠牲

【東京電話】大東語戦争開始以深水年十一月下旬に至る二ケ年間に

開戦以來輝く陸軍の綜合戰果

飽迄も忠誠なれ

敢て怖るに足らず米の生産力 朝鮮聯盟 小磯總裁訓示

競を開稿したが同大意間上小磯殿開機就は江の如き烈々たる測示を行ひ決試的指数に挑立不開不配の開進駅を要 部官大利で持分る大東部戦争開戦第二周年記載大戦は別面所戦の如くいとも縁大に続行。戦ら中間。の形なる他された希望を終さい戦略をから顕著を東に新たにしる戦争でしたやさくの黙黙を強めたが平和十一時からの

精神は歌めて現骸量が全度距民族図底の縁度により支持せらるる所 が折くして限に恣意の勝利を制するであらうことの必然を駆び得な

バイスパンプール七日同盟アン

ます、新たなる世紀を顕復するの傾命に立つ東の日本、西のドイツ

といふ魚り乗吹を示し來るであらうとは明かであります、適概水ン る國内卓領よりして長期職を不利とする立場から大東地戦戦が第三 第一で郷取第三年の数替に就て申し上ぐれば、脳米が其の多職な 難材は極めて断兆多数に上り同日補支革位の食糧自給機策の上 軍需品の生産カ

「戦冷朝鮮」の面目は

米英撃滅へ總進軍

首相 政府の決意披瀝

完盛するとともに思模しにおいて

短されるほか榊、 華、

時間下に富民の総錬成を縄て心身の温度を聞り観賞を

談話夏雪灰の班と談話を最衰した

回願するとともに解々皆然の度を 芸演説を行ひ大戦二ケ年の決戦を

余程万、戰死確

派地七日同盟] 茨る三

聖職完選の順願を行うた、なほど、関係がなる配書器職式を銀行

を初め極盟駐湖外交官を招待 湧き上る獨逸

貴族の炭坑

般表に 放表

陸鷲、常徳で十機血祭り (美城城出身) 羅羅維楊 (長頭城出身) 大同軍 の決意を接触し一個設識時間にプ き破跡域の越進罪を開始すべきの 【新京特選】関原領司令がは八日大 色賦平として敵の羅助を採殺すべ 長余程万は一部部下を紹へ常微城日常機城職落を前に撤第五十七節 新京の記念日

学院社会学院に機関院後三百七十 の配元三歳一日九百余十二名、派を前十二萬五十 (名金の院院) 一郎 太一 / 年の総裁院を通り、 400万元 三機・宮城地間八十八隻といふ器一石機自線末級最三行十三機の常い

敵失百廿四萬餘

| 続たる配虫不認の散臭が聴けられ | 駆性のあることを開発に終記せれ | よ)を現場するが、時にカイコの場 在支敵空軍を撃滅

門(皮地間出き)等の飛気帯にアが十一機・全権で撃撃をしたほかの2支援が強した影響を受けた場所にあり、東震が強しな影響を受ける場合を表している。 真り 常郷上空に (放入し死たつたが、窓方) 一機を歐勝、個は過ごした。 さらに六日午後零時半お て意識。その都皮腫症し酸の影響を粉砕してゝある。肌や去る五日には、ド4十五機をもつて二回に 年後出版五十五分の二回しのたる版本府成成空車はノースアメリカンB15、P46、P36五機の厳勝 【中文〇〇近地中日回典】重慶の妻文廟である常徽縣が優秀するや、歐米梅空軍は地上軍と相呼県し 紀元の第四反極を試み、適甘常徳四方に出郷レクトあるが、わが制鋭極関稜厥は職墜の心障を

東部職等第二周年記念日と置り権

殿争」である。 網級において先端

佐大原栗 送放演講

| 別が記る人、毎の音なの判らは人、 | 日本のでは、 | 〇手軽に治したい方へ 一必す頭が悪い

鼻の惡い人は

お斷り 一台間 中

い状ときままりのカイボルのに変いながないでは、 大学では、 、 大学では、 體



念せん ものはあ お肌の爲にパピリオクレ



の世の意明目 だ界勝にで破

は六東語戰爭二周年記念日を迎く「南京七日同盟」國民政府正主席

叛逆見を驅逐せん

記念日に際し汪主席談

と康健に性女生く輝に性知

標社新標的新

健康の本道は健う 翻鮮際北 ミツワ浦項農場職品都東 京 〇 ミツワ石酸本領勤品部 腰切つた熱意を生 要性に依つて、一 事性に依つて、一 事性に依つて、一 事性に依つて、一 事性に依つて、一 から





社會式株氯電浦芝京東

決戦第三年へ踏出す巨步

感激新に

商 況

一堂々!吹奏

題目影 な単高機関 图序台 明排 异

豊田計理事務所

秦宗 **"生** 元**第** (2) 3305





億一心、完勝へさらに邁進

郷を固めて無限所限を続けており

上面統の登録と申さなければなり

申せば、盟邦ドイツも所不既の郡「待つて居ることは流石にヒツトラ他町戦祸の戦ひは如何であるかと」たる旅密を以て決戦の機器するを

盟邦も亦不敗の態勢

カ上価値を意味したイタリヤと絶 事質は難じて然らず、ドイツの國

査職、野力其の他の 継続を受て

官民一丸決戦増産へ

東京県部1回 東京県部1回 東京県市 東京 投資 東京 投資 東京 投資 東京 投資 東京 投資 宗城時后字

金剛屋山





医学博士

京城公平町三六





金林 斌 明治町-/九・明治座前乗-丁角 電本②1278·(變化病院跡)

医学学 安田實